



第 1650 回例会

平成 23 年 3 月 7 日(月)

18 : 30 ~ 海南商工会議所 4F

1. 開会点鐘

2. 国歌斉唱 「君が代」

3. ロータリーソング 「それできこそロータリー」

4. 出席報告

会員総数 65 名 出席者数 46 名

出席率 70.77% 前回修正出席率 66.15%

5. 会長スピーチ

みな君今晚は。

春 3 月、まだまだ春には遠い感もありますが確実に春に向かっていることは確かです。

私の任期も 3 分の 2 を消化しました。まもなくホームストレッチに入ります。

今日は識字率向上月間であります。毎年各クラブより集まったはがきやコインは地区社会奉仕委員が半日かけて集計作業をします。郵便局員のようにはがきを何枚も読む作業はなかなか大変なのですが、全て皆様方の善意によって寄せられたものでありますから一生懸命に集計作業を行います。地区委員が一生懸命にやられている姿を一度見てほしいと思います。

5 日の土曜日にライラで高野山に行ってきました。まだ雪の残る「ロータリー 100 年の森」で植樹をしました。ライラの参加者はもとより委員会のスタッフ一同には頭が下がる思いで一杯です。

当クラブも永らく参加者を出しているので近い将来に出せるようにすればと思います。新世代は五つの奉仕部門になったことでもありますから。

R C への思いは 100 人 100 様ですが、時代と共に変わってゆきます。それに順応して楽しい R C 生活をよって行こうではありませんか。

会長 谷脇 良樹君



6. 幹事報告

幹事 上野山 雅也君

○マイクアップ

海南西 R C 3 月 3 日 林 孝次郎君

○例会臨時変更のお知らせ

新宮 R C 3 月 16 日(水) → 3 月 20 日(日)
13 : 00 ~ 那智勝浦町文化体育館
(創立 50 周年記念)

○休会のお知らせ

有田南 R C 3 月 22 日(火)

新宮 R C 3 月 30 日(水)

和歌山城南 R C 3 月 31 日(木)

○米山記念奨学会より功労賞

山田 耕三君

○マンダウェ・イースト R C より感謝状

花田 宗弘君、林 孝次郎君

二人がフィリピンのマンダウェ・イースト R C の理事会に出席してから、付き合いが始まりました。それから、丁度、10 年が経ち内容も随分変化してきました。現在ではマンゴロープの植樹が中心となっているようです。今後は若い人に参加していただきたいと思います。



7. 委員会報告

○社会奉仕委員会

委員長 岩井 克次君

「たんぽぽの会」との交流会は、4 月 17 日(日)に行いますので、多数の参加をお願いします。

8. 閉会点鐘

次回例会

第 1651 回例会 平成 23 年 3 月 14 日(月)

海南商工会議所 4F 12:30 ~

会員卓話 倉橋 利徳君



3 月は
識字率向上月間

四つのテスト 言行はこれにてらしてから

- ①真実かどうか ③好意と友情を深められるか
- ②みんなに公平か ④みんなのためになるかどうか

事務所 〒642-0002 海南市日方 1294(海南商工会議所内)

電話(073)483-0801 FAX(073)483-2266

会長：谷脇 良樹 幹事：上野山 雅也 S A A : 三木 正博



ニコニコ・BOX

Happy Birthday

◆ 3月お祝い ◆

○会員誕生日

2日 山畠 弥生君	19日 中村 雅行君
3日 倉橋 利幸君	27日 朝井 修君
13日 那須 正志君	31日 山東 剛一君
16日 小椋 孝一君	

○奥様・ご主人誕生日

3日 楠部 悅子様	16日 田岡 美香様
10日 山野 三保子様	17日 金川 けい子様
12日 平尾 美代子様	21日 花田 恵子様
13日 横出 美保様	23日 荻野 真由美様

○結婚記念日

3日 上南 雅延君	26日 岸 友子君
14日 中村 文雄君	29日 土井 元司君
15日 小椋 孝一君	29日 辻 亮君
26日 深谷 政男君	

○一般ニコニコ

花畠 重靖君	結婚記念日をしてもらわなくなつて 12年経ちました。
吉田 昌生君	NHK「49日のレシピ」を見ながらふと家内の事を思い出しました。 先日、熊野古道大辺路に行った時に周参見町のエビとカニの水族館に行ってきました。
小椋 孝一君	2月27日にりら創造芸術高等専修学校の卒業発表会に行って来ました。魚谷先生にいろいろお世話になり、有難うございました。
辻 亮君	土日の2日間、高野山で開催されたライラセミナーに参加しました。
中西 秀文君	月に1度位しか例会に出席できないのですが、今日は有難うございました。
上田 善計君	4月10日の家族会楽しみにしています。出席した家族全員を出席率の対象にしてはいかがですか？
宮田 貞三君	宮田貞三さん。貴重な意見有難うございます。理事会ではかりたいと思います。
上野山 雅也君	宮田貞三さん。貴重な意見有難うございます。理事会ではかりたいと思います。
谷脇 良樹君	そうなるように理事会ではかりたいと思います。
三木 正博君	"
宮田 敬之佑君	ニコニコ入れておきます。
花畠 重靖君	海南文化協会65周年の当日のプログラムを置いておきます。時間のある人は参加していただきますようおねがいします。
山田 耕三君	長いこと休みました。また、忘れずに出できます。



国際ロータリー ニュース

日本の学友が絵本を出版

2人のロータリー財団学友が、日本の有名な童話を通じて、ドイツの子供たちに文化理解とコミュニケーションを推進しています。



1992-93年度国際親善奨学生のガブリエラ・ブラクロさん（ドイツ）と、2004-06年度奨学生の船津景子さん（日本）は、イラストレーターの西村ももさんと共に、日本の童話「鶴の恩返し」のドイツ語版、「Dank des Kranichs」を出版しました。2009年の出版以来、この本とイラストは、図書館、ブックフェア、ブラクロさんが住むドイツ・ミュンヘンでの各種行事などで度々紹介されています。

船津さんは「日本の童話を、ドイツの子供たちに紹介することで異文化コミュニケーションを促進するという考えに魅力を感じました」そして、ブラクロさんがこのアイデアを温め、発行人となりました。

船津さんはブラクロさんとミュンヘンのルドヴィクーマクシミリアンズ大学でドイツ文化を勉強していた時に知り合いました。ミュンヘン-ババリア・ロータリークラブの会員で第1840地区ロータリー財団学友小委員長でもあるブラクロさんは、学友行事に娘を連れて行くことが多く、そこで船津さんやその他の日本人留学生が語ってくれたこの童話に魅了されたそうです。船津さんは翻訳本のアイデアを提案し、ブラクロさんの出版関係の友人に協力を依頼しました。

ロータリー国際親善奨学生としての経験が、今回のプロジェクトを進める上で大きな自信につながったと言います。本は折り紙付きで、ブラクロさんは、「小さい頃の私を思えば、このようなプロジェクトを行うなど考えられなかつたのですが、奨学生として学んだ経験を機に、心を広く持ち、ポジティブで社交的になることができるようになりました」本を出版するにあたり、二人は、どの「鶴の恩返し」を選ぶかを考えました。ドイツの童話とは違い、日本の童話の場合、たくさんのバリエーションがあるからです。

イラストは、財団学友の夫と結婚した西村さんによって描かれました。ドイツの子供たちは、典型的な日本の衣食住だけでなく、どのように新年が祝われているのかということも学ぶことができます」この本には、折り紙と鶴の折り方を説明したイラストも付いています。

日本文化をドイツの若者に紹介するだけでなく、この絵本は、ポリオ撲滅のための募金集めにも貢献しています。1冊の売上げにつき、1.50ユーロ（2米ドル）がポリオ・プラスに寄付されており、今日までに約700ユーロ（944米ドル）が集まりました。同じように、寄付する予定です。